



市議会ホームページ
QRコード

国分寺駅北口再開発の西街区ビル5階に 「国分寺市立 cocobunji プラザ」設置の条例を可決



国分寺駅北口再開発ビル

平成29年第4回定例会は、11月29日から12月21日までの23日間の会期で開催し、市長提出議案30件、委員会提出議案2件を議決しました。(結果は8頁に掲載) また、陳情10件を継続審査としました。

一般質問では、4日間にわたり、市長等と議論を交わしました。(2～7頁に掲載)

国分寺市立cocobunjiプラザ条例 を賛成多数で可決

「国分寺市立cocobunjiプラザ」(以下「cocobunjiプラザ」という)は、「国分寺市立国分寺Lホール」の後継公益施設として、国分寺駅北口再開発事業の西街区ビル5階の公益フロアに、4月1日開設されるホールとセミナールーム等の施設のことです。

市議会には市長より、「cocobunjiプラザ」の開館時間や休館日、使用料等を新たに定める議案「国分寺市立cocobunjiプラザ条例について」と、「cocobunjiプラザ」オープンに向けた準備経費と各公益フロアオープンイベントの委託費、公益フロア運営支援委託費等の補正を行う議案「平成29年度国分寺市一般会計補正予算(第4号)」がそれぞれ提案され、審議を行いました。

「cocobunjiプラザ条例」の委員会審査

議案「国分寺市立cocobunjiプラザ条例について」は、国分寺駅周辺整備特別委員会に付託し、審査を行いました。

委員会では、「入場料加算規定にこれまでになかった『物品の販売行為』『有料サービスの提供』を新たに加えた考えは」「使用料は国分寺Lホールの現行単価1平米あたり24円/時間

にあわせたということだが、施設整備費と権利床に係る費用を単価計算から除外すればさらに安価となる。より安価で市民に使用していただくべきだ」「物品販売を可能としたが、間違っても悪徳販売等に使用されてはいけない。公序良俗等を乱すことのないよう適切・厳格に運用すべき」「付属設備等の使用料に関し、演台や司会台等をその対象としているが、今後内容を精査し、再度見直すべきではないか」「より充実した運営に向けて遅滞なく準備を望む」などの質疑があり、採決を行った結果、賛成多数で本案を可決しました。

「補正予算(第4号)」の委員会審査

議案「平成29年度国分寺市一般会計補正予算(第4号)」は、歳入歳出予算の総額504億2,518万3千円に、オープンに向けた準備経費1,030万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額を504億3,548万5千円とするともに、オープンイベントの委託と公益フロア運営支援委託等の債務負担行為7件を追加したいというものです。

この議案は、補正予算審査特別委員会(委員長:尾作義明、副委員長:だて淳一郎)を設置し審査しました。

委員会では、「公益フロア運営支援業務委託の内容確認」がされ、担当より「委託内容としては、受付補助、ホームページを活用した広報

業務などに加え、カフェ・レストスペースの運営業務委託も想定に入れている。委託事業者の選定は、プロポーザル方式にて提案を募り選定していくことを考えている」との答弁がありました。また「公益フロア運営支援業務委託に、カフェ部分の委託を含めるのは、将来的に指定管理者制度への移行を考えてのことか」「公益フロアオープン記念式典は、モニターを設置するなど、多くの方にご覧いただけるような工夫を」などの質疑があり、採決の結果、全員賛成で本案を可決しました。

本会議での審議

本会議では、議案「国分寺市立cocobunjiプラザ条例について」に関し、「使用用途として新たに『物品の販売行為』と『有料サービスの提供』を加えているが、これまでLホールを利用されていた市民や市民団体が従前どおり優先的に利用できるのか」との質疑があり、担当より「使用用途を広げることによって、今まで利用されていた市民や市民団体に影響を及ぼし、使いづらいような状況が起きることは当然避けたいと考えている。物品の販売行為などを用途として使用する場合は使用料は通常の倍額と規定している」との答弁がありました。

採決にあたり「受益者負担の考え方のもと使用料を徴収することは、設置目的である市民の

シリーズ 国分寺市議会⑤

日曜議会

国分寺市議会では、身近で開かれた議会を目指し、平日にお仕事などで本会議等の傍聴に来られない方にも、市議会の本会議を傍聴していただけるよう、平成18年より、第1回定例会の本会議のうち1日を日曜日に開催しています。

日曜日に議会を開催している市議会は、多摩26市のうち3市のみです。他の市議会に先駆けて、国分寺市議会は開かれた議会を目指した取り組みの一つを実施していると言え、昨年は富山県にある

テレビ局から取材がありました。

日曜日の本会議では、代表質問を行います。代表質問は、市長の施政方針(次年度に向けた市政運営の基本姿勢を示すとともに、今後取り組むべき重点方針を、市長が第1回定例会初日の本会議で表明するもの)に対し、会派の代表者が一人ずつ、1時間の持ち時間(無会派の方は総じて1時間)において、表明された市政運営や取組方針等の考えに関する確認や質問を行います。

今年は、右記のとおり開催します。ぜひ一度傍聴にお越しください。お待ちしております。

「日曜議会」を開催します

身近で開かれた議会を目指します

日時: 2月25日(日) 午前9時30分～
場所: 市役所第1庁舎3階 議場
内容: 市長の施政方針に対する代表質問

なお、市長の施政方針は、2月23日(金)午前9時30分から予定しています。

多くの皆様のご来場をお待ちしております。



多彩な交流と活動の場の創出等に矛盾する。使用料の額を抑えて市民文化の向上に寄与するものとすべきである」との反対討論と、「国分寺Lホールの後継施設であるcocobunjiプラザの設置は、国分寺駅北口再開発ビルが完成し、国分寺市がさらによりよいまちに発展していくスタートの場面である」との賛成討論がありました。その後、採決を行った結果、賛成多数で本案を可決しました。

また、議案「平成29年度国分寺市一般会計補正予算(第4号)」に関しては、委員会同様、採決の結果、全員賛成で本案を可決しました。

市民課サービスコーナー移設を 全員賛成で可決

議案「国分寺市出張所設置条例について」は、平成30年度に市民課の「国分寺駅北口サービスコーナー」を再開発ビルの中の公益フロアに、「光町サービスコーナー」を国立駅高架下に移設することを契機に出張所として改めて位置付け、窓口での取扱業務を拡充することで、市民サービスの向上を図るものです。国分寺駅北口再開発ビルの中に移設される出張所の名称は「cocobunji市民サービスコーナー」に、国立駅高架下に移設される出張所の名称は「国分寺市国立駅前市民サービスコーナー」になります。

総務委員会では、「休日の窓口開庁や平日の時間延長、取扱業務の増など市民にとってサービス拡大となるが、職員体制の対応は」との質疑に対し、「業務に支障が無いよう適切な人員

を配置し、事前研修など行う」との答弁がありました。さらに「国立市と共同使用する国立駅高架下のスペースについて、別途条例化が必要ではないか」「住民票の写しなどは今までどおり交付されるが、申請書で一度市役所に持ち帰り処理するものは、朝預ければ夕方もらえるなどの迅速な対応ができるのか」などの質疑に対し、「申請書等は基本的に1日1回担当部署に持ち帰るので、時間的なものについては今後調整する」との答弁がありました。また「出張所に提出された申請書等の事務処理に関し、文書管理規程上に不備があるのではないか」などの質疑があり、採決を行った結果、委員会及び本会議ともに、全員賛成で本案を可決しました。

平成29年度一般会計補正予算(第5号) を全員賛成で可決

議案「平成29年度国分寺市一般会計補正予算(第5号)」は、歳入歳出予算の総額504億3,548万5千円に、歳入歳出それぞれ3億5,017万3千円を追加し、総額を507億8,565万8千円とし、債務負担行為28件の追加と地方債8件の変更を行いたいというものです。

補正予算審査特別委員会では、「こくぶんじ青空ひろば事業は、対象となる公園の位置が市の中央部から西側に若干偏っていないか」「ごみ資源物収集運搬業務を委託するにあたり、安全管理面について市としてどのように業者に指導しているか」「まちづくりセンター委託料の減額補正は公募型協働事業として募集をかけて

も応募する団体がなかったことによるが、その要因はなにか」「増額となる保育士等キャリアアップ補助金の対象に非常勤の保育士も含まれているか」「来年度第七小学校に教室数不足が見込まれている。多目的ルームを普通教室に転換して2教室を確保するための修繕料が計上されているが、多目的ルームの使用状況は。支障が出ないのか」などの質疑がありました。

採決にあたり「保育士等キャリアアップ補助金の増額等は保育の質の向上に必要。また来年度第七小学校がクラス増となる可能性があることから普通教室確保のための予算が計上されているが、今後も遅れをとることなく対応を進めてほしい」といった賛成討論がありました。

本会議では、「第九及び第十小学校の教室棟建設に係る国の補助金交付決定、保育士等キャリアアップ補助金の増額、第七小学校の教室改修予算の確保など総合的に前向きな要素が多い。反面、まちづくりセンターの公募型協働事業への応募事業者がなかったことによる減額補正は、市民との協働まちづくりの後退を意味していることや、本町二丁目・四丁目臨時駐車場は国分寺駅北口地下駐車場整備後も一定期間存続すべきであり、問題等もあるが、全体的に判断し賛成する」との賛成討論がありました。その後、採決を行った結果、委員会及び本会議ともに、全員賛成で本案を可決しました。



市政を問

平成29年 第4回定例会 一般質問の質問事項・答弁の要旨

内容は各議員が一定のスペース内で自由にまとめたものを一般質問が行われた順番で掲載しています

待機児童ゼロに向け 幼稚園との連携を!!



自民党新政会 吉田 りゅうじ

▼待機児童数ゼロに向けた取り組み

【問】待機児童数は平成27年度が88名、昨年度が102名、本年4月1日時点の数値は?

【答】本年4月1日時点の待機児童数は92名と減少したが、10月1日時点では151名と増えた。共働き家庭の増加が要因と考えている。

【問】総合ビジョンでは平成30年度で待機児童数ゼロを目標としており、平成27年度から500人の定員増が必要。取り組み内容は?

【答】ほぼ計画どおりの整備を進めており、平成27年度80人、28年度173人、29年度には318人(平成30年2月開所の76名を含む)の合計571人の定員拡充が図れた。

【問】待機ゼロに向けて保育園のみならず幼稚園にも協力して戴く、いわゆる幼保連携も重要なファクターであると考えているが、市としてどのようなアプローチをしているか?

【答】待機児童の解消に向けて幼稚園施設の活用は重要であるとの認識をもっており、預かり保育の拡充等について幼稚園と話し合いの機会を設けてきた。課題解決に向けたご意見などもいただいております、引き続き他自治体の取り組みも参考にしながら課題の解決に向けて検討する。

▼都市計画道路国3・4・6号線の部分開放

【問】府中街道西恋ヶ窪一丁目交差点の渋滞が激しくなってきた、熊野神社前交差点までの区

間だけでも先行整備し部分開放出来ないか?

【答】東京都に改めて確認したところ、暫定的な整備の可能性について前向きな回答を戴いている。市としては引き続き東京都に対して事業推進を強く働きかけるとともに、協力していく。

▼2020東京五輪に向けた国分寺市の取組み

【問】都と五輪組織委員会では、使用済み携帯電話等から抽出される金や銀を使って、大会の全てのメダルを製作すると決めた。国分寺市としてはどのように協力していくか?

【答】市内16施設に小型家電回収ボックスを設置し、本年10月末現在488台の携帯電話を回収。1台から金が約0.03g抽出でき、488台×0.03g = 14.64gの金の抽出に貢献した。※因みに金メダル製作には、約9,996gの金が必要と言われている。

冬場のカーブミラー 凍結対策を!



国分寺政策市民フォーラム だて 淳一郎

小・中学校の新学習指導要領について

だて) 今回の改訂の目玉である、アクティブ・ラーニングについて準備状況、取組みを伺う。教育長) 各校内での教員研修を重ね、その研究成果を市内全体で共有する事に努めている。

だて) プログラミング教育について内容を伺う。教育長) パソコンを使っただけの授業という事だけでなく、物事を論理的に考えられる「プログラミング的思考」を育てていく。

凍結して見えないカーブミラーについて

だて) 寒くなるとカーブミラーが凍結し、交差点の様子が見えず歩行者も車も大変危険な状況がある。設置者として対策は何かないのか。

市) 他市の状況や業者にも確認したが、これといった対策はなかった。今後も研究する。

だて) 設置数が多いので、まず特に危険な箇所のピックアップを行い、対策を検討してほしい。

Jアラートが聞こえない!

11月14日にJアラートの全国一斉テストが行われた。室内の生活音の中だと、ほとんど聞こえないエリアがあり、万が一の有事の際に初動対応が遅れば生命にかかわる。どう考えるか。

市) Jアラートの音量については現状が最大音量である。防災行政無線の音が聞こえづらいエリアがあるのは認識しており、スピーカーの向きや数を増やすといった改善を検討していく。

期日前投票について

だて) 先般の衆院選の際に期日前投票が天候の関係で大混雑となった。期日前投票所の増設など今後の対応について伺う。また、ひかりプラザでの投票日の拡充を要望する。

市) 今回の件は教訓として今後に活かしていきたい。期日前投票所については施設・日数の増加など再来年の市議選に向け検討していきたい。

市税の徴収について

だて) 昨年私が提案し、導入をして頂いた市税を滞納したまま遠方に引っ越してしまった方への訪問対応委託について状況を伺う。

市) 昨年度から始めた遠隔地訪問調査委託であるが12件111万円の納付があった。納付以外にも様々な情報を得ることができ、その後の対応に効果が上がっている。継続していきたい。



人口減少待ったなし 未来を見据えた国分寺を



自民党新政会 本橋 たくみ

●人口減少問題について

本橋 出生率向上の取り組み、多世代同居の取り組み、待機児童の取り組み等を進めていきながら、それぞれの自治体の努力で人口減少に歯止めをかけていく必要があると考える。また生涯未婚率についてもしっかりと課題として捉え対策を講じていただきたいと考える。市) ご指摘の通りあらゆる政策を組み合わせながら努力をしていく。

●子育て支援の充実について

本橋 市では様々な事業で子育てを支援してきたが、いつどこで何が行われているのかわかりにくい。わかりやすい情報発信を検討いただきたい。市) 今後わかりやすい情報発信のあり方を検討していく。

●スポーツ施設について

本橋 けやき運動場の人工芝化を強く求めてきたが市の認識、現在の検討状況について問う。補助金申請の可能なスケジュールについて問う。市) 必要性は認識している。見積もりを取り、補助金を活用しながら進めて行く方向で検討している。

●ペットボトルの戸別収集について

現状の拠点方式では、地域によって拠点の距離の格差があり早急に戸別収集を行うべきだと考える。市) 平成31年度の実施に向けて検討を開始している。

●市内公園について

本橋 宅地開発公園等、市内には小規模な公園が増えているが、均一的で差別化がなされておらず、利用者が少ない。子育てに特化した公園や、健康遊具を備えた高齢者のための公園、球技専用の公園など差別化を図っていく必要があると考える。市) 各施設の利用状況を把握しながら様々な用途を考えていきたい。

●グローバルギャップ取得の支援について

本橋 2020年東京オリンピック・パラリンピックに農家が食材等出荷をするにはグローバルギャップを取得する必要がある、ハードルがかなり高いといった声がある。取得をしたい農家に市としての支援をお願いしたい。市) グローバルギャップについて研究し検討していきたい。

地域と人を支えるために 民間の力を生かそう



公明党 さの 久美子

1. 地域活性化包括連携協定について

さの) 10月に(株)セブン-イレブン・ジャパンや市内郵便局との協定が締結された。AEDの配置や「高齢者の見守り」の進め方をききたい。今後も民間の力を生かす取り組みを進めるつもりか。市) 両者に地域を支える拠点と人になっていただき、地域包括支援センターと連携して個別支援をしていきたい。市長) 地域に貢献したいという団体がおられ、それぞれの特色を生かす貢献を望んでいる。今後も積極的に進めたい。

2. 認知症対策について

さの) 自分でゴミ出しのできない高齢者が増加

している。ふれあい収集の対象になりにくい認知症患者の相談体制の確立を求めたい。深刻さを増す課題であり、ゆくゆくは介護支援ボランティアに担って欲しい。市) 地域包括支援センターと連携し相談体制を作っていく。市) 介護支援ボランティアへの課題として受け止めたい。

3. マンホールカードについて

さの) 12月、マンホールカードが発行されることになった。カードを入手するために国分寺に見えた方に市の魅力を感じてもらい、ふるさと納税につながる意欲的な取り組みを求める。市) 「日本の宇宙開発発祥の地国分寺」の認知拡大と市への来訪勧誘を積極的に進めたい。

4. 安全・安心のまちづくりについて

さの) 研究中の自治会サポートカードのサービス対象は生活に密着したものを選ぶ視点が必要。市) 市の産業振興の観点から利便性の高いポイントサービスの研究の検討材料としたい。さの) 子育てファミリー向け「地震防災ハンドブック」作成から3年。データ更新、HPにアップし、親子ひろばなど活用場の拡大を求める。市) 冊子が目に触れる機会を設け、保護者が参加するイベントなどでも配布していきたい。さの) 宿泊訓練の参加者も減少傾向、市の総合防災訓練の位置付け、考え方を整理する必要がある。次回は夜間訓練の実施を。市) 時期、時間、内容を総合的に判断して訓練にのぞみたい。さの) 在宅避難への市の関わり方の一つは市民に知恵を提供すること。パッククッキングなどの講演会の実施を。市) 取り組みを進めたい。

良識から常識へ 骨髄ドナー支援制度を求む



自民党新政会 丸山 哲平

骨髄移植ドナー等の支援について

丸山 先般、白血病患者の方へ骨髄を提供するため入院してきた。その中で骨髄移植において多くのドナー候補が金銭的補償がないために提供を断念せざるを得ない状況にあることを知った。提供する可否かは最終的にご本人の意思によるが、金銭的理由で移植ができないという事態は社会として解消すべきである。当市には現在支援制度がない。早急に検討に入り、来年度からでも実施してもらいたい。

福祉保健部長 支援事業について必要性を認識している。他市状況を踏まえ検討を進めたい。

丸山 検討にあたって要望がある。他市の支援制度は大半が期間を7日間に設定しているが、検査や入院を合わせ骨髄移植方式で約10日間、末梢血幹細胞採取方式では約2週間かかるのが常であり7日間では足りない。実態に即した期間設定を求める。目下、骨髄提供はある種の「良識」と捉えられているが、これを社会の「常識」にしなければならない。支援制度を設けることはドナー候補の決断の一助となるのみならず、当市にいらっしゃる白血病と闘っている方々へのエールにもなる。早急な対応を求める。

企業・大学連携について

丸山 当市のイベント等で現在学生をはじめ多くの方々にボランティアとして携わって頂いている。こうした動きを加速、広げるためにも市から感謝状や参加証等を出せないか。双方にとってより継続的な関係構築に役立つと考える。市民生活部長) 提案内容はよくわかるところであり、大学等から意見聴取をするなどし、制度設計も含め研究して参りたい。

職員採用について

丸山 有効求人倍率が1.5倍を超え、人材確保につき厳しい時代となってきた。市では採用広報において、市報やSNS等を用いているが、これに加え民間就職情報サイト等へもアプローチすべきではないか。特にこれまで採用実績のない大学等には積極的に広報すべきである。

総務部長 受験実績がない大学への広報は有効と考える。周知の方法含め研究したい。

その他 健康推進策、待機児童等につき質問。

障がいのある人もない人も ともに暮らすまち



国分寺・生活者ネットワーク 岩永 康代

■成年後見制度 現状と課題は? **答** 認知症の増加や障がいの親亡き後の支援の必要性等、利用の潜在的なニーズはある。わかりやすい制度周知と財産のない方への後見人等の報酬負担や、高齢化等による需要の増加への対応が課題 **岩永** 利用が必要な場合に助成が受けられるしくみを **答** 近隣市の状況をふまえて協議する **岩永** 組織で後見を担う法人後見の検討状況は? **答** 継続性や多職種での対応などメリットがある。社協と協議を継続する **岩永** チームによる連携した支援体制整備にむけ、計画的な取組が必要 **答** 円滑な支援が受けられるよう、計画の策定を検討する。

■学童保育所 七小の公設学童増設は、狭隘状況解消にむけ一歩前進である。今後は4年生以上も受入できるよう、民設とあわせて公設の更なる整備を **答** 課題として受け止めている。教育委員会との調整を図りながら進めていく。 **岩永** 民設の誘致が進まない現状がある。多世代交流や共生社会を目指し、高齢者や障がい者施設等との複合的な学童事業への補助等、参入しやすいしくみの検討を **答** 複合的な取組は非常に有効と考える。どういう事ができるか考えてみたい。

■産前産後の支援 全妊婦と保健師が面接を行う「ゆりかごこくぶんじ事業」は、行政とつながるきっかけや、家族全体の相談支援となっている。課題やニーズをふまえて地域の助産院や産婦人科等とも連携し、産前産後ケアメニューの拡充を **答** 必要性は認識している。既存事業の更なる活用や先進市を参考に、国分寺に適した事業を研究する **岩永** 今後子育て世代包括支援センターの整備を進める中で、夜間でも駆け込める場、相談できる体制等を検討いただきたい。

■障がい者施策 地域で障がい理解を進めるための取組を何う **答** 障害者地域自立支援協議会で市内不動産事業者との懇談を予定 **岩永** 重要な取組である。様々な業種に広げていただきたい。また、国分寺駅ビル公益フロア等に障がいのある人の作品展示や商品販売の場の設置を **答** 展示や販売は可能 **岩永** 職員の障がい理解を進めるために、実践的で継続的な研修が必要 **答** 対応要綱を全職員に周知して、全課全職員が障がい者に対してしっかり対応できるように今後も務める。

会派の変更について

(平成29年11月9日付)

| | |
|------|------------------|
| 所属議員 | 中山ごう・岡部宏章 |
| 変更前 | 日本共産党国分寺市議団 |
| 変更後 | 無会派(日本共産党国分寺市議団) |
| 所属議員 | 幸野おさむ |
| 変更前 | 日本共産党国分寺市議団 |
| 変更後 | 無会派(ここに幸あれ) |

※会派結成には、3人以上の所属議員が必要

地域で見守り、支え合う 共生社会の形成へ



公明党 **なおの 克**

●子育て支援について

問) 地域で見守り、**育児不安を抱える母親などにアウトリーチでサポートする体制**を求める。
市) 職員が巡回し、課題を早期発見し、様々な子育て支援サービスの情報提供、相談に応じる。
問) **総合相談やワンストップで行える体制づくり**、さらに**中央地区拠点**を確保する事が重要だ。
市) 教育委員会との連携や拠点整備を行いたい。
問) 昨年**インフルエンザ予防接種の助成**について未就学児を対象に開始したが、さらなる対象枠の拡大を図って頂きたい。
市) 対象年齢の拡大を検討していく。

●キャリア教育について

問) 新規学卒者の離職率が高く社会的な問題だ。**働く事の意義、職業観の形成**に向け、様々な専門家の学びの機会を得るよう検討して頂きたい。
教育長) 学習活動を充実する必要がある。校長連絡会等で情報提供、意見交換をしていく。

●空き家・空き地等の対策について

問) 空き家・空き地の利活用で**所有者に関する情報**を求められた場合、提供すべきと考える。
市) 空き家所有者の同意を得れば、情報提供は可能だ。対応のための仕組みづくりを考えたい。
問) **土地の登記を促す取り組みや所有者不明になりかねない土地や空き家の再生**に取組むべき。
市) 相続登記を促す取り組みや公民連携の中で、研究を進めてまいりたい。

問) 国が所有者不明土地について、**自治体でのイベント等で有効利用**ができる新制度を検討しているが、すぐ対応できるよう準備を求む。
市) 必要な対応が図られるよう準備を進める。

問) **空き家バンクの登録促進**のために、空き家を利用したい方も登録すべきだ。
市) 利活用の促進に向け取り組んでまいりたい。

●福祉施策・移動支援事業について

問) **ガイドヘルパー不足解消**に向けて、見直し、充実を図って頂きたい。
市) 今後、さらに細かな情報収集、利用実態の把握を行い、課題を整理していく。
問) **利用条件の内容について使いやすさ**を求める声も高い。見直しや丁寧な対応を求める。
市) よりきめ細かな対応を検討してまいりたい。

切れ目ない口腔環境ケアで 将来負担の軽減を



公明党 **高橋 りょう子**

(1) 乳幼児の健康推進施策

問①体調の急変で受診出来なくなった予防接種のスケジュール管理システムの導入を求めて来たが「**ぶんぶんロケット**」として10月から導入出来たことを高く評価し更なる周知を求める。
市) 10月末時点で140名、1歳未満は74名の登録を頂き大変好評。情報提供・周知に努める。
問②永久歯の土台となる幼少期の口腔環境が重要。小学校入学後は保護者の目も届かなくなりがちで口腔衛生状態に影響が出始める。学童保育や低学年時でのブラッシング指導など切れ目ない支援で虫歯予防と将来の医療費負担抑制を。

市) 学童は歯科衛生士による指導を進め、学校は歯科医師会、各学校とも協議し検証してみる。

(2) 介護・子育て支援人材確保の取組み

問) 高齢者への生活援助サービス支援や介護人材、子どもの育児支援には担い手確保が求められる。子育てや介護経験を積んだ市民を対象に健康保険証発送時に呼びかけチラシを同封する等、庁内各課が連携協力し、人材確保への取組みを検討しては如何か。又事業者への人材紹介の橋渡しには社協にも協力頂いては如何か。
市) 支え手となる人材育成、活躍の場の受け入れ体制を作り橋渡しを担って頂くよう依頼する。

(3) 生活習慣病の学習を教育現場でも実施を

問) 大人になってから習慣を変えるのは簡単ではない。教育現場でも学びの中で取り組みを。
教育長) 生活習慣の確立、意図的・計画的な健康教育を推進し成果を発信していく。

(4) ぶんバス北町ルート乗客アップの取組を

問) バス停が少なく最寄駅で乗降出来ず乗客が少ないのが現状。J R西国分寺駅延伸など検討を。
市) バス停増設に向け民間バス会社の既存バス停共有使用等を協議し西国延伸も検討していく。

(5) 緑地確保にもなる都市農業の振興支援を

問) 国分寺駅北口再開発ビルで農畜産物販売が出来れば地産地消や営農者支援となる為推進を。
市) 町の賑わいとしても生産者と連携していく。
その他) ①新生児の**聴覚検査**奨励。②高齢者配食サービスで**安否確認**を。③男性介護者の実態把握で介護離職や共倒れ防止への支援を。④期日前投票の体制強化を。等質問しました。

エネルギー施策は 市民と共に取り組む視点で



国分寺・生活者ネットワーク **秋本 あすか**

◆**環境基本計画における施策の推進**秋本 来年度第三次国分寺市地球温暖化防止行動計画の市役所版を見直す際、同時に地球温暖化対策実行計画の市域版を策定すべきである。市民や事業者と共に取り組む、市全体のエネルギー推進施策が必要だ。市域版策定検討の必要性は認識している。施策の具体的な効果や実行性の検証等、次年度以降、策定要否も含め検討する。秋本 学校施設増築や公共施設のマネジメントが進む中、再生可能エネルギーの設置には庁内連携でしっかり取り組むべき。市民への住宅用太陽光発電機器等設置助成制度では太陽光発電機器・再生燃料電池コージェネレーション機器共に、設置促進を念頭に周知に力を入れよ。秋本 予算編成時期に設置推進を庁内周知した。関係課連携を進める。さらに新築確認申請を届ける際の助成制度案内を開始した。秋本 新たな施策の調査検討は市民や事業者と意見共有しながら進め、皆で取り組めるエネルギー施策を作ることが大切。その協議の過程こそが市域版策定に繋がる。

◆**化学物質過敏症対策**秋本 柔軟剤・制汗剤等の香りが原因で健康被害を訴える方がいる。香害と言われ、日本消費者連盟が初めて相談窓口を設置した。自ら使用せず被害を受ける点で受動喫煙と同様。市でも新たな課題として認識と対策が必要、互いに理解を促すために、HPやポスター等での周知啓発を。秋本 香害の問題は認識している。医療との関係や専門性の観点もあり、関係部署と協議し研究しながら進める。

◆**空き家の利活用について**秋本 4月開始の空き家バンクは未だ利活用は進んでいない。課題は何か。秋本 建築年数が経過し改修に費用が要る状

況が多い。秋本 所有者と利用者双方への助成が必要。秋本 空き家活用は地域コミュニティ活性化の施策と認識。助成の仕組みづくりは関係部署との調整が必要だが、活用可能な制度を情報収集したい。利用者の活用目的の公開も利活用推進に繋がる。利用者登録を始め、実績を積む。秋本 所有者と利用者が意見交換や利活用の事例を通じ、イメージ共有することが必要だ。庁内連携して場の設定を。秋本 関係部署との連携を検討する。

保育待機児童解消 教員の長時間勤務の改善等



公明党 **木島 たかし**

保育の待機児童解消へ寄り添った支援を
問) 入所申請に関する説明会の十分な周知や、駅近くの公共施設等での出張相談の開催検討を。
答) 相談体制の充実を図るために検討する。
問) 子育て支援全般(妊娠、出産、保育、学童、検診、遊び場等)の情報が一元的でわかりやすいサイト(ホームページやアプリ等)が必要。
答) 他自治体を参考に組みたい。
問) 待機児童解消、保育士の処遇改善に向け、都の緊急対策補助事業等を積極的に活用すべき。
答) 状況を把握し必要な対策を検討したい。

子どもの学びと育ちを支える取り組みを
問) 学校内の人材の充実で「チームとしての学校」を推進するとともに、保護者や地域が一体で子どもの育ちを応援する取組がさらに必要。
答) 実現に向け環境を整備し推進していく。
問) 中学校生徒の部活動終了後の最終的な下校時刻が若干遅いのでは? 教員の長時間勤務改善や生徒の安全な下校のため、日没の早い冬季だけでも前倒しを検討すべき。
答) 現状を十分に把握しながら検討を進めたい。

災害に強い安全安心のまちづくりに向けて
問) 前定例会の一般質問で、通電が原因の火災を防ぐため、地震時に設定以上の揺れを感知して自動で電気を遮断する「感震ブレーカー」の設置促進へ助成制度を提案したが状況は?
答) 平成30年度の実施に向け取り組む。
問) 近年多発する集中豪雨対策強化の為、関係法が改正されたが、市内のハザードマップ(被害予測地図)の見直しが必要では?
答) 来年度更新する。避難体制も再度検討する。

街灯・道路照明灯のLED化について
問) 積極的な対応を求めてきたが現状は?
答) 市管理分は街灯76%・道路照明灯15%、自治会管理分は24%がLEDに対応済み。概ね順調。
問) 自治会によっては、費用の課題からLED化

次ページに続く▶

映像配信について



平成29年第4回定例会の本会議で行われた一般質問と議案審議の様子が市議会のホームページからご覧になれます。また、次回第1回定例会の代表質問と議案審議のライブ中継・録画配信も行います。ぜひご活用ください。



本会議の動画配信QRコード

スマートフォン等で読み取るとサイトにアクセスできます!



が進まないことも今後予測される。対策検討を。また、史跡及びその周辺地域の市管理分に関しては、防犯上の観点からも早期にLED化対応を。
 答) 自治会へのアンケート調査等で、要望を聞きながら予算措置していきたい。史跡周辺地域も危険となっている場所は設置を行っていく。

介護する人とされる人の 幸せが両立する支援を



国分寺・生活者ネットワーク 高瀬 かおる

<介護者支援について> 共稼ぎで子育てや介護をする家庭が一般的になってきている。在宅介護実態調査から何が必要と考えるか？(1,100人中643人が回答) (答) 回答者の8.4%が「主な介護者が仕事を辞めた」と回答。介護者を支え、離職に至らないよう支援することが重要と考える (問) この調査からは見えにくい、勉強や仕事をしながら家族を介護する子どもや若者たち「ヤングケアラー」の実態調査を求める (答) 高齢者に限らない庁内関係部署と連携し、実態と課題を把握していく (問) 介護と仕事を両立するための支援について、都が10月に相談窓口を設置した。地域でも介護離職を防ぐ取り組みが必要だ (答) 地域包括支援センターやケアマネジャーが、家族の状況や気持ちにも目を向け、離職しなくても在宅支援ができる体制づくりの視点をもつことが必要。離職する前に相談できる体制をめざす (問) それでも離職した場合、介護を終えた後の社会復帰への支援が必要なこともある (答) 復職については、介護と就労を取り巻く課題を整理した上で、国分寺市就労支援地域連絡会等と連携し検討していきたい。

<相談支援体制について> 既存の相談窓口には敷居が高く出向けない方や自らSOSを発することができず困難の中にいる方もいる。現在検討中の (仮) 地域相談窓口の設置には、誰もが立ち寄りやすい雰囲気が大切だ。相談者に寄り添う地域のマンパワーや医療や薬の相談にもアドバイスできる専門職の配置を提案 (答) 非常に大事な視点と考える。地域の皆様、社会福祉協議会等の関係者の意見を聞きながら進めたい。

<買い物環境の向上について> 地域によって、買い物が不便との声がある。そこで、産業振興の観点から地場野菜や商店街の商品を地域に出向いて販売すると同時に、買い物弱者と言われる高齢者等の買い物不便を解消する方策を探る。現在、本多わかば公園で行っている地場野菜の出張販売を基に、他の地域にも広げてはどうか。また、採算性の確保も重要なことから買い物のニーズ調査を (答) 出張販売では、固定客の多くが比較的高齢であり見守りの関係性も見えてとれる。JAや商工会とも相談、意見交換し考える。

請願・陳情の 提出について

請願・陳情はどなたでも提出できます。

市民の皆様は行政等に対するご要望は、請願・陳情として市議会に提出できます。

請願・陳情はいつでも提出できますが、平成30年第1回定例会(2月23日開会予定)からの審議を希望する方は、2月5日(月)までに直接議会事務局へお持ちください。

キャッチボールで 遊べる公園を



国分寺政策市民フォーラム 星 いつろう

●都市計画公園「戸倉公園」とは

星) 「子どもたちがキャッチボールで遊べるような身近な公園が必要」との富士本一丁目地域の声を以前お伝えした。この質問を通じて、公園づくりにはいくつもの課題があることを学んだ。同時に、子どもたちが安全にのびのびと遊べる公園の必要性をより強く感じている。

富士本一丁目は、第十小学校の学区であるが、その十小の東側に「都市計画公園・戸倉公園」の整備構想を市は持っている。現在、どのようなことが決まっているのか。

市) 昭和37年に計画の決定告示を行ったが、どう整備を行っていくのか決まっていない。

星) この構想を進めるための課題はなにか。

市) 整備計画の策定、地権者の理解を得たうえでの用地取得、財政負担、補助金の活用など。

●キャッチボールができる条件

星) 安全面の配慮から硬球によるボール遊びが市立公園では規制されている。では、キャッチボールで遊べるようにするには、どのような条件整備が必要と考えるか。

市) 一定の広さ、周辺住民の理解、安全性を確保する設備などを検討していく必要がある。

●市民の意見を基にした公園づくりを

星) どの地域の整備であっても、その地域のみなさんの意見・要望を基礎とする公園づくりが問われている。世田谷区には「地域のみなさんのアイデアをもとに作った」という公園がある。世田谷区に行き、その方法についてレクチャーを受けてきた。住民と行政との何回もの話し合い(ワークショップ)、そこで出された意見の紹介とその検討結果を知らせるニュースの発行など、市民と行政との往復運動が活発に行われていることを学んだ。市民との意見交換の場を当市も設けるとのことであるが、どういった観点から行おうと考えているのか。

市) 使いやすく親しみのもてる公園を目指し、地域ごとにワークショップを開いていきたい。

→その他「命を守るため、学校の防災では防災頭巾よりヘルメットが有効」「市民が病院に改善を求める際の相談機関の設置」について質問・要望を行った。

学校図書館 児童・生徒にとって大事な居場所



国分寺政策市民フォーラム 皆川 りうこ

◆平成30年度予算編成方針(市長通達)

皆) 自治・分権の否定と言える国が示す行革のトップランナー方式は、不交付団体の国分寺市は対象外だが、予算編成方針への記載理由は？
 答) 直接該当しないが国が示す視点でも考える。
 皆) 方針に女性が生き生きと働くことができる環境の充実とある。管理職への女性の登用は？
 答) 積極的に進める。市の組織も活性化する。
 皆) 予算編成方針をHPに掲載し、市民に周知せよ。
 答) 意見として受け止め他市の状況も確認する。

◆職員の主体的な学び、良好な職場環境整備

皆) 各種職員研修に関する助成制度は平成元年

のもの。講師料の基準等不明確で見直しすべき。
 答) 助成基準の内容について研究、検証したい。
 皆) ストレスチェック制度の活用と休職等の現状は？
 答) 現在、病気休暇6人、休職3人とメンタル面で休んでいる職員9人。セルフケアの情報提供や産業医の面接を受けるよう勧奨した。

◆国分寺駅再開発ビル公益フロアはユニバーサル社会、共生社会実現の場に

皆) 行政はバリアを取り除く取り組みを。障害者優先調達推進の点で「お仕事ネット」と情報共有し提供を。
 答) 障害者の就労の場の確保のご意見と受け止める。情報共有を含め庁内連携を図りたい。

◆小中全校配置の学校司書、水準を維持せよ

皆) 教室に入れない児童・生徒にとって学校図書館は安心安全な「居場所」だが、見解を伺う。

答) 困難を抱えた子どもにとって学校図書館も安心できる「居場所」だ。他にも子どもの状況に応じて「居場所」を作り充実を図っていく。

皆) 非正規の学校司書の皆さんは、研修・研鑽に励み業務の水準が高い。研修活動等保障せよ。

答) 学校司書の全校配置により読書好きの子どもが全国や都より多い。研修回数の減少の一方、メール活用等の情報交換。学校での指導、連携でより一層の読書活動の充実にあたってほしい。

◆引きこもり「80・50問題」、自殺対策、成年後見制度利用促進等

皆) 諸課題を地域福祉計画実施計画に盛り込め。
 答) 記載表現考えたい。

皆) 成年後見制度の助成で市長以外の申し立ての他市の状況は？
 答) 制度の改正は速やかに！

皆) 親族も含め対象としている市は26市中13市だ。

プレステ、西国北口東口、 ごみ処理費用など



国分寺政策市民フォーラム 及川 妙子

1. プレイステーションについて

代替地としてポッポのもり跡地が使えないか？
 →史跡の指定地である上に「接道がない」ので認めることはできない。プレステ事業は大切だと考えているので代替地を探しながら現状の解決ができるように頑張っていきたい。

2. 国3・2・8号線オーバースの南東端の側道との見通しが大変悪い箇所で見通し板を透明なパネルにとりかえていただきありがとうございます。

3. 西国分寺駅北口について

まちづくり協議会ができたまちづくり計画案の策定を目指しているところだが、駅前市事務所をつくる予定はないのか？
 →事業がはじまって職員配置の必要性があれば検討する。

国分寺駅と国立駅に市出張所が設置される。西国分寺駅にも市民サービス・図書貸し出し、期日前投票所をあわせた市の事務所を検討してほしい。以前要望したいずみホールでの図書の受け渡しはどうなったのか？
 →スペースを確保できないので難しいという結論だ。

4. 西国分寺駅東口について

今後の予定は？
 →東口や南北自由通路が未設置であり都用地未利用地もある。現況調査や市民意向調査をおこない、地区計画の見直しや用途地域の変更など都市計画の手法を整理していく。

5. ごみ・資源物の処理状況について

ごみ総量は多摩26市で下から3番目でごみの減量は進んでいるが処理費用27億円はかかりすぎではないか？
 →焼却施設の持ち方、老朽化、新可燃ごみ処理施設建設などの理由で高額になっ
 次ページに続く▶

6 国分寺市議会だより

ているが内容については適正だと考えている。
6. 業務プロセス分析について
 正規職員の非正規への置きかえよりも優秀な正規職員の育成に力をいれるべきだ。

7. 介護保険の改正について
 総合事業への移行について、住民主体のサービスBが2事業所、利用者1名と少ないのはなぜか？→総合事業の対象者に限らず広く介護予防、生活支援をしている事業所も多い。線引きをしない取り組みを目指しているためだ。サービスBの事業者を増やしていくことは変わらない。

多面的なまちづくりを推進



自民党新国会 尾作 義明

●**プレイステーションについて**
 プレイステーションは既成の公園では体験できない「生きる力」を自然の中で育める貴重な場所であり、運営団体においてもその公益性は市内外を問わず教育機関でも評価されている。この活動拠点を失う様なことがあれば市としても大きな損失となる。今後の行政の取り組みについて伺う。(市) 当該地での取り組みについては非常に評価している。拠点となる土地については協議を進め、検討を深めたい。

●**緑の基本計画について**
 現状について伺う。(市) 20年に渡る長期計画で4年ごとに実施計画を作成、施策の展開を図っている。(尾) 現状を追認して目標値を下げることは計画とは言えない。目標達成に向けて取り組んでほしい。また、本町、南町、東元町一丁目地域など早くから住宅地域になって地域では公園の空白地域を埋めることは困難。今後の取り組みは如何か？(市) 公園用地となる用地の確保が難しい。民間事業者と連携し緑や公園の確保に努めたい。(尾) 緑被率確保のため駅周辺、商業地域など建蔽率、容積率の高い地域では屋上緑化、壁面緑化も一つの方法、まちとしての付加価値も上がるが如何か？(市) 良好な景観、付加価値の向上に有効な手段と考える。(尾) コスト、メンテナンスなどを考えると屋上緑化、壁面緑化を行った場合にメリットを得られる条件を検討して欲しい。

●**「史跡の保全と活用について」**

●**「七重塔再建について」**

●**「国分寺市郷土博物館について」**

市と国、都によって公有化した史跡は整備については新整備基本計画に則って進められている。活用については過去、七重塔の再建の市民運動や、郷土博物館の構想があった。今でも(仮称)国分寺市郷土博物館建設基金が設置されているが、その基となる基本構想を見直す必要がある。(市) 現存する構想が非常に大きなものであることから、実現性の点から、そのあり方

次の定例会開催予定

市議会を傍聴してみませんか

平成30年第1回定例会は、2月23日(金)から開会の予定です。
 議会はどなたでも傍聴できます。ぜひ傍聴にお越しください。
 ※本会議は市役所第1庁舎3階議場で、委員会は同委員会室で、午前9時30分から開始予定です。

について考えていきたい。

●**「モバイルサービスについて」**

予防接種のサービスが始まった今後に期待。

加入者負担増やす
国民健康保険の都道府県化



無会派(日本共産党国分寺市議団) 中山 こう

＜都道府県化で国保税を値上げするな＞

| 所得階層(円) | 2012年 | 2016年 |
|-----------|-------|-------|
| 0 | 34.4% | 34.9% |
| 1～100万 | 22.6% | 24.2% |
| 100万～200万 | 19.9% | 19.6% |
| 200万～400万 | 15.0% | 13.3% |
| 400万～ | 8.1% | 8.1% |

国保加入世帯を所得階層別にみると市の資料より上記のように、所得100万円未満が半数以上を占めています。

2018年4月から国保運営が都に移管されることに伴い、都が2016年をベースに2018年の加入者一人当たりの国保税を試算した結果は、

16年：107,496円→18年：154,255円で46,759円。

また、国保会計への市の補助金は、16年16.1億円、17年14.4億円。

中山) 46,759円の値上げをさせないために市で必要となる補助金は概算で13.7億円(中山試算)。16と17年の市の補助金を参考にすれば、市でも負担できる金額。値上げしない対応を。

答弁) 相当な保険料の増になると見込まれる。市としてしっかりと考えていく立場にあると思っている。

*国保税を値上げしないという方針をまず決めて検討すべき。絶対に値上げするな。

中山) 国保加入者の負担と市の補助金が増えている原因は、国が国保への補助金を減らしていること。その減額分(中山の試算)は市では約15億円。全国では1兆円超にもなる。この減額分を戻すように国に求めるべき。

答弁) 国・都に市長会を通じて財政負担を求めていく。

中山) 市長会を通じては昨年も要望しているが、大きな変化はない。より具体的な行動を。

答弁) 市町村単独での要望は当然ありません。(今まで通り)市長会を通じて要望していく。

*市長会を通じての取り組みだけでは不十分。さらに踏み込んで求めるべき。

＜保育の質を担保した待機児解消を＞

中山) 市が整備計画に位置付けた小規模園は、一部無資格者でも保育できるもの。待機児解消は今まで通り認可保育所での整備を求める。

高齢者介護、障害者支援、
西国分寺駅東口



無会派(日本共産党国分寺市議団) 岡部 宏章

＜安心して受けられる介護を＞

岡部) 国は、軽度の方にはできないことをできるようにしてもらい介護を受けなくてもよい状態になってもらうよう自治体に財政インセンティブを与えて競わせようとしている。これまで訪問介護や通所介護を受けているだけの方も、トレーニングを受けることで、できないことができるようにならないといけないのか。

答) 必要以上のサービスを提供している場合が

あったということも事実だった。ここはケアマネジメントのスキルを高める必要がある。
 岡部) 訪問介護や通所介護などを受けることによって、自分1人ではできないことがあっても介助者の助けによって支えられて、その人らしい暮らしを送ることが出来るようになる。本当に大事な役割を果たしている。トレーニングを受けてもらう等を議論する以前に、このようなことをきちんと評価すべきだ。

＜特養ホームが必要な方に対し責任果たせ＞

岡部) (計画の検討では特養ホームではなく老人保健施設の建設となっているが) 結局は自宅に戻ることになる老健では、家族介護で支えきれなくなってしまう恐れがある。高齢者のひとり暮らしや高齢者のみの世帯が要介護3以上の方で半数近くに及んでいる。

答) 特養ホームは整備率でみて国分寺市は東京都全体を上回っている。現状で充足している。

岡部) 特養ホームを必要としている方々もいるので、きちんと状況把握すべきだ。

＜障害者のガイドヘルパー確保を＞

岡部) ガイドヘルパーが不足しているとのことで、障害者団体から要望をお聴きした。単価を上げることでガイドヘルパーの確保を。

答) 移動支援のヘルパーの仕事を知ってもらい、地域の方に担い手になって頂くような取り組みが必要(と、単価の引き上げは否定する答弁)。

＜西国分寺駅東口に動きあり＞

まちづくり部長) 南北自由通路や未利用地(都用地)の活用も含めた都市計画の検討を行う。

岡部) 今後、住民意向調査の結果がまとめられた際など、大事な節目で大いに知恵を出し合いながら、引き続き一緒に取組んでいきたい。

国立駅北口整備の進捗
不妊治療助成について



自民党新国会 尾澤 しゅう

【国立駅北口周辺の整備について】

尾澤) 国立駅北口駅前広場周辺の整備の進捗状況について教えてください。

答弁) 本年9月に工事施工者が決定をし、11月29日より広場北東部の街渠の工事に着手をしている。これについては、平成30年2月まで行う予定です。

尾澤) 前回の一般質問のやりとりの中では、工事の着工に合わせて北1号線の一方通行化も実施されるとのことだったが、一方通行化はいつから始まるのか。

答弁) 11月頃の工事着手に合わせて交通規制を行う予定だと聞いていたが、現在、関係機関と改めて調整中ということで未定となっています。

尾澤) ぶんバス西町ルートのバス停の位置も工事の関係で移設されていると聞いているがいかか。

答弁) ぶんバスのバス停は約40メートル東側へ移設する必要がある、12月12日から約1カ月半移設する予定です。

尾澤) 国立駅北口利用者の大半は国分寺市民である。しかし、交通規制等の周知が充分なされていない状況にある。駅前の交通規制は市民生活や地域の経済活動に大きな影響が及ぶことが想定される。早急に交通規制や工事スケジュール等の周知(北口駅前広場での説明会や市報、ホームページ等)を国立市と共にさせていただくことを求めます。

答弁) 国立市と相談のうえ、周知に努めます。
 次ページに続く▶

【不妊治療について】

尾澤▶現在、東京都及び市区町村の助成制度導入状況、それから国分寺市における申請の件数状況についてお伺いをします。

答弁▶東京都では医療保険が適用されない高額な費用がかかる特定不妊治療について、その費用の一部を助成しています。東京都への特定不妊治療の申請件数は平成28年度1万7,071件、うち国分寺市は151件となっています。また、東京都の助成事業に上乘せする形で市部では8市1町、また区部では12区が特定不妊治療助成制度を導入しているところです。

尾澤▶本市でも早急に助成の導入の検討を！

介護の為に退職が8.4%!! 介護退職を防げ
甲斐 よしと

甲斐) 在宅介護の限界点を上げる為の定期巡回・随時対応型訪問介護看護(通称・24時間巡回介護)のサービスこそ、市域が狭く、持ち家率も高い本市に有効なはずだが、欠如している。介護退職予防にも有効だと重ねて議論してきた。介護退職について担当部長は「通常は相談の窓口という地域包括支援センターであり、介護退職について直接的な相談はほとんどないという実感である」という答弁だったが、『在宅介護実態調査』により、介護退職が過去1年で8.4%もいた事が判明し、私の政策危機提言が正しかった。

一ノ瀬福祉保健部長) 以前の議員への答弁では地域包括支援センターに相談に来られる方はもう既に辞めてからの相談が多く、なかなか介護退職の実態については把握してないという答弁をさせていただきました。今回議員の言うよう介護を理由に過去1年間で主な介護者が仕事を辞めた割合は8.4%。議員が言うよう回答の無い方を含め潜在的にはそれ以上いらっしゃる事が明らかになり、大変重く受け止めている所です。次期計画には「家族介護負担を軽減する為に」を改めて取組む課題としてゆきたい。

甲斐) 次期計画策定にあたり検討いただいでい

る地域福祉計画策定委員会の高齢者保健福祉計画部会、介護保険運営協議会の議事録でも今日まで介護離職対策の議論が出ていない。今あるデータを追加資料として提示し御議論をいただくようお願い。また29年度地域包括支援センター事業計画にも「総合的な相談」というくりはあっても介護者家族の相談を掲げていない。介護離職という文言一つも無い。高齢者介護と育児のダブルケア対策も取り上げてない。抜本的に、ケアマネ、地域包括職員の研修・共通認識を高めていただきたい。

福祉保健部長) まず、家族介護の負担を軽減するために議員の言う定期巡回・随時対応型介護看護を第7期計画に新たな取り組みとして視野に入れた体制づくりをめざしたい。新たに事業所も公募になるのでヒアリング確認し進めたい。

他に国分寺、西国分寺駅への羽田・成田空港等のバス終着の要請をしました。

市長が終始、答弁を拒否! 二元代表制の危機!
幸野 おさむ

無会派(ここに幸あれ) 幸野 おさむ

幸野) ◆子育て情報の一元化について◆「子育て世代包括支援センター整備」も「ホッとおれんじこくぶんじ」も情報の一元化が前提だ。

部長) 一元の情報は必要。今後検討する。○

幸野) ◆「子育て支援サイト」開設◆に向けて、「目的別」「年齢別」「地域別」に検索できる他市の事例を参考にしながら早急に検討を。

部長) 26市中15市が実施。研究してみたい。○

幸野) ◆小学校の教室整備を◆児童数は平成12年→34年までに1254名増加予定。教育委員会で場当たりのではない抜本的対応の検討を。

部長) 重い課題としてとらえている。前向きに積極的に教育委員会の場で議論を重ねたい。△

幸野) ◆第三小の校庭拡張を◆近隣5市と比べ国分寺市の平均校庭面積は少ない。その中でも三小の校庭は狭すぎる。安全性を考え拡張を。

教育長) 大変重い課題と認識している。研究を進め、必要あれば市長部局と連携して考える△

幸野) ◆第七小の学童保育所は2階建てに◆

部長) 財政的な面を踏まえ平屋建てで進めたい
幸野) 平屋建てだともう一つ作る事になり、土地代も場所の確保も難しくなる。学校の敷地内という安全な場所で確保するのが当然だ。

部長) 平屋建てで、狭あい状況は解消できる×
幸野) ◆保育園・待機児童の解消を◆市内の株式会社保育園で不正受給が発覚、大きな影。逆行する公立保育園の民営化はストップすべき。

部長) 計画に則り粛々と進めていく。×

幸野) ◆幼稚園預かり保育支援制度の創設を◆「TOKYO子育て応援幼稚園」も参考に検討を

部長) 何が出来るかをしっかり検討する。○

幸野) ◆「つくしんぼ」の待機児童の解消を◆待機児童は32名で毎年増加。あと一つ整備を。

部長) 今後の状況を見極めながら解消を図る△

幸野) ◆学生ボランティア政策の位置づけを◆保険補助の復活や交通費の補助で参加し易く。

部長) 市で補助を復活する予定はない。×

幸野) ◆スポーツ施設利用者の声を聞いて◆

部長) 各団体の意向を聞き調整していきたい△

幸野) ◆駅や公共施設周辺に駐輪場の整備を◆

部長) 交通安全計画に位置付けていきたい。△

※○は前向き、△は対応遅れ、×は後ろ向き

閉会中の委員会等
委員会はどこでも傍聴できます
第4回定例会終了後、平成30年第1回定例会までの間に開催する委員会等は下記のとおりです。
1月16日(火) 建設環境委員会
1月18日(木) 議会運営委員会
1月19日(金) 文教子ども委員会
1月25日(木) 総務委員会
1月29日(月) 国分寺駅周辺整備特別委員会
1月30日(火) 厚生委員会
2月7日(水) 公共施設等総合管理特別委員会
2月21日(水) 代表者会議
議会運営委員会
市役所第1庁舎3階委員会室で午前9時30分から開催します。
*詳しくは、市議会ホームページをご参照ください。

議案に対する議員の表決状況 (賛否の分かれたもの)

Table with columns for Party Name (会派名), Member Name (議員名), and various committees (自民党新政会, フォーラム, 公明党, ネット, 共産党, 幸(無), 無). Rows include 議案第92号, 93号, 96号, 97号, 108号, 114号.

・表決 (○=賛成 ×=反対)
・会派名 (フォーラム=国分寺政策市民フォーラム、ネット=国分寺・生活者ネットワーク、共産党=無会派(日本共産党国分寺市議団)、幸=無会派(ここに幸あれ)、(無)=無会派(無所属)、無=無会派)

第4回定例会議案審議結果

第4回定例会には新規32件(市長提出30件、委員会提出2件)の議案が提出され、同意6件、可決26件となりました。

※太字表記の議案の表決結果は7頁を参照してください。

| 議案番号 | 議案名 | 議案の要旨 | 付託先委員会 | 本会議結果 |
|------------|---|---|--------|---------|
| 第86号 | 人権擁護委員候補者の推薦について | 人権擁護委員の任期満了に伴い、熊谷淳氏を再推薦する。 | — | 全員賛成・同意 |
| 第87号 | 人権擁護委員候補者の推薦について | 人権擁護委員の任期満了に伴い、村原町子氏を再推薦する。 | — | 全員賛成・同意 |
| 第88号 | 人権擁護委員候補者の推薦について | 人権擁護委員の任期満了に伴い、岩崎文子氏を再推薦する。 | — | 全員賛成・同意 |
| 第89号 | 人権擁護委員候補者の推薦について | 人権擁護委員の任期満了に伴い、田中久美子氏を再推薦する。 | — | 全員賛成・同意 |
| 第90号 | 人権擁護委員候補者の推薦について | 人権擁護委員の任期満了に伴い、成瀬大輔氏を推薦する。 | — | 全員賛成・同意 |
| 第91号 | 人権擁護委員候補者の推薦について | 人権擁護委員の任期満了に伴い、二階堂寛氏を推薦する。 | — | 全員賛成・同意 |
| 第92号 | 国分寺市組織条例の一部を改正する条例について | 組織の効率化を図り、業務改善を進めるため、組織の名称及び分掌事務を変更する。 | 総務 | 賛成多数・可決 |
| 第93号 | 国分寺市特別職の職員の常勤のもの給与に関する条例の一部を改正する条例について | 市長、副市長及び教育長の期末手当の加算措置に関する規定を整備する。 | 総務 | 賛成多数・可決 |
| 第94号 | 国分寺市市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例について | 地方税法の改正に伴い、控除対象配偶者の定義の変更等に関する規定を整備する。 | 総務 | 全員賛成・可決 |
| 第95号 | 国分寺市出張所設置条例について | 地方自治法第155条第1項の規定に基づき、出張所として市民サービスコーナーを設置する。 | 総務 | 全員賛成・可決 |
| 第96号 | 国分寺市立cocobunjiプラザ条例について | 国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業西街区ビル5階に国分寺市立cocobunjiプラザを設置する。 | 国分寺駅 | 賛成多数・可決 |
| 第97号 | 国分寺市障害者センター条例の一部を改正する条例について | 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律及び児童福祉法の改正に伴い、引用条項を整理するとともに、事業内容を整理する。 | 厚生 | 賛成多数・可決 |
| 第98号 | 国分寺市立こどもの発達センターつくしんぼ条例の一部を改正する条例について | 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律及び児童福祉法の改正に伴い、引用条項を整理する。 | 文教子ども | 全員賛成・可決 |
| 第99号 | 国分寺市生産緑地地区に定めることができる区域の規模に関する条例について | 生産緑地法の改正に伴い、生産緑地地区に定めることができる区域の規模を定める。 | 建設環境 | 全員賛成・可決 |
| 第100号 | 国分寺市立公園条例の一部を改正する条例について | 西町一丁目地内に西町おおぞら公園を新設する。 | 建設環境 | 全員賛成・可決 |
| 第101号 | 国分寺市廃棄物の処理及び減量並びに再利用に関する条例の一部を改正する条例について | 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第9条の3第2項の規定に基づき、生活環境影響調査結果の縦覧及び意見書の提出に係わる事項について、規定を整備する。 | 建設環境 | 全員賛成・可決 |
| 第102号 | 国分寺市議会議員及び国分寺市長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例について | 公職選挙法の改正に伴い、市議会議員選挙におけるピラ作成を公費負担の対象とする。 | 総務 | 全員賛成・可決 |
| 第103号 | 国分寺市文化財の保存と活用に関する条例の一部を改正する条例について | 国分寺市文化財保護審議会の委員の定数を5人以内から8人以内とするともに、組織に関する規定を整備する。 | 文教子ども | 全員賛成・可決 |
| 第104号 | 平成29年度国分寺市一般会計補正予算(第4号) | 歳入歳出予算の総額に1,030万2千円を増額し、歳入歳出それぞれ504億3,548万5千円とする。 | 補正予算 | 全員賛成・可決 |
| 第105号 | 平成29年度国分寺市一般会計補正予算(第5号) | 歳入歳出予算の総額に3億5,017万3千円を増額し、歳入歳出それぞれ507億8,565万8千円とする。 | 補正予算 | 全員賛成・可決 |
| 第106号 | 平成29年度国分寺市介護保険特別会計補正予算(第2号) | 歳入歳出予算の総額に7,767万4千円を増額し、歳入歳出それぞれ84億5,922万1千円とする。 | 厚生 | 全員賛成・可決 |
| 第107号 | 平成29年度国分寺市下水道事業特別会計補正予算(第2号) | 歳入歳出予算の総額から1億9,514万2千円を減額し、歳入歳出それぞれ30億3,203万2千円とする。 | 建設環境 | 全員賛成・可決 |
| 第108号 | 指定管理者の指定について | 国分寺市民スポーツセンター、国分寺市民びかりスポーツセンター、国分寺市民戸倉野球場、国分寺市民けやき運動場、国分寺市民本多武道館、国分寺市民戸倉第一テニスコート、国分寺市民戸倉第二テニスコート、国分寺市民室内プールの管理・運営に関する業務を、平成30年4月1日から平成35年3月31日まで「日本管財・TAC共同事業体」に行わせる。 | 総務 | 賛成多数・可決 |
| 第109号 | 指定管理者の指定について | 国分寺市障害者センターの管理・運営に関する業務を、平成30年4月1日から平成35年3月31日まで「社会福祉法人万葉の里」に行わせる。 | 厚生 | 全員賛成・可決 |
| 第110号 | 指定管理者の指定について | 国分寺市いきいきセンターの管理・運営に関する業務を、平成30年4月1日から平成33年3月31日まで「特定非営利活動法人ワークスコープ」に行わせる。 | 厚生 | 全員賛成・可決 |
| 第111号 | 指定管理者の指定について | 国分寺市介護老人保健施設すこやか、国分寺市高齢者在宅サービスセンターふれあいの管理・運営に関する業務を、平成30年4月1日から平成33年3月31日まで「一般財団法人国分寺市健康福祉サービス協会」に行わせる。 | 厚生 | 全員賛成・可決 |
| 第112号 | 指定管理者の指定について | 国分寺市生きがいセンターさわやかなの管理・運営に関する業務を、平成30年4月1日から平成35年3月31日まで「特定非営利活動法人あおぞら」に行わせる。 | 厚生 | 全員賛成・可決 |
| 第113号 | 指定管理者の指定について | 国分寺市立もとまち児童館、国分寺市立第一東元町学童保育所、国分寺市立第二東元町学童保育所の管理・運営に関する業務を、平成30年4月1日から平成35年3月31日まで「特定非営利活動法人ワークスコープ」に行わせる。 | 文教子ども | 全員賛成・可決 |
| 第114号 | 指定管理者の指定について | 西国分寺駅南口自転車駐車場、西国分寺駅南口第2自転車駐車場、西国分寺駅北口自転車駐車場、西国分寺駅北口第2自転車駐車場、国分寺駅南口自転車駐車場、国分寺駅南口原動機付自転車駐車場、殿ヶ谷戸庭園西自転車駐車場、国分寺駅北口自転車駐車場の管理・運営に関する業務を、平成30年4月1日から平成35年3月31日まで、本町二丁目臨時自転車駐車場、本町三丁目北臨時自転車駐車場、本町四丁目臨時自転車駐車場の管理・運営に関する業務を、平成30年4月1日から平成31年8月31日まで「株式会社ソーリン」に行わせる。 | 建設環境 | 賛成多数・可決 |
| 第115号 | 指定管理者の指定について | 恋ヶ窪駅東自転車駐車場、恋ヶ窪駅西自転車駐車場、恋ヶ窪駅第1自転車駐車場、恋ヶ窪駅第2自転車駐車場の管理・運営に関する業務を、平成30年4月1日から平成32年3月31日まで「公益社団法人国分寺市シルバー人材センター」に行わせる。 | 建設環境 | 全員賛成・可決 |
| 委員会提出議案第1号 | 国分寺市議会委員会条例の一部を改正する条例について | 会派構成の変更により、議会運営委員会委員の定数を8人から7人に変更する。 | — | 全員賛成・可決 |
| 委員会提出議案第2号 | 国分寺市議会委員会条例の一部を改正する条例について | 国分寺市組織条例の改正に伴い、常任委員会の所管の名称を変更する。 | — | 全員賛成・可決 |

・国分寺駅＝国分寺駅周辺整備特別、補正予算＝補正予算審査特別

第4回定例会陳情の審議結果

第4回定例会では陳情11件を審議した結果、継続10件、取り下げ1件となりました。

《継続となった陳情》

陳情第29-2号 西国分寺駅東口開設を求める陳情

陳情第29-3号 新市庁舎建設に関する文化施設の併設についての陳情

陳情第29-5号 「日本軍『慰安婦』問題に関する意見書」の見直しを求める陳情

陳情第29-6号 西国分寺駅東口恋ヶ窪側乗降口の開設を求める陳情

陳情第29-8号 東京都立武蔵国分寺公園または隣接する都有地へのドッグラン設置についての意見書提出を求める陳情

陳情第29-9号 東京都に、第32回オリンピック競技大会(2020/東京)の開会式に競技施設等の工事従事者の入場行進を求める等の意見書提出を求める陳情

陳情第29-10号 日本政府に核兵器禁止条約への調印を求める意見書の提出を求める陳情

陳情第29-11号 幼稚園が行う「預かり保育」

への助成制度の新設に関する陳情

陳情第29-12号 日本政府に核兵器禁止条約への調印を求める意見書の提出を求める陳情

陳情第29-13号 国分寺障害者団体連絡協議会の活動拠点を確保し提供することに関する陳情

《取り下げとなった陳情》

陳情第29-4号 新市庁舎建設に伴う国分寺障害者団体連絡協議会の活動拠点提供に関する陳情